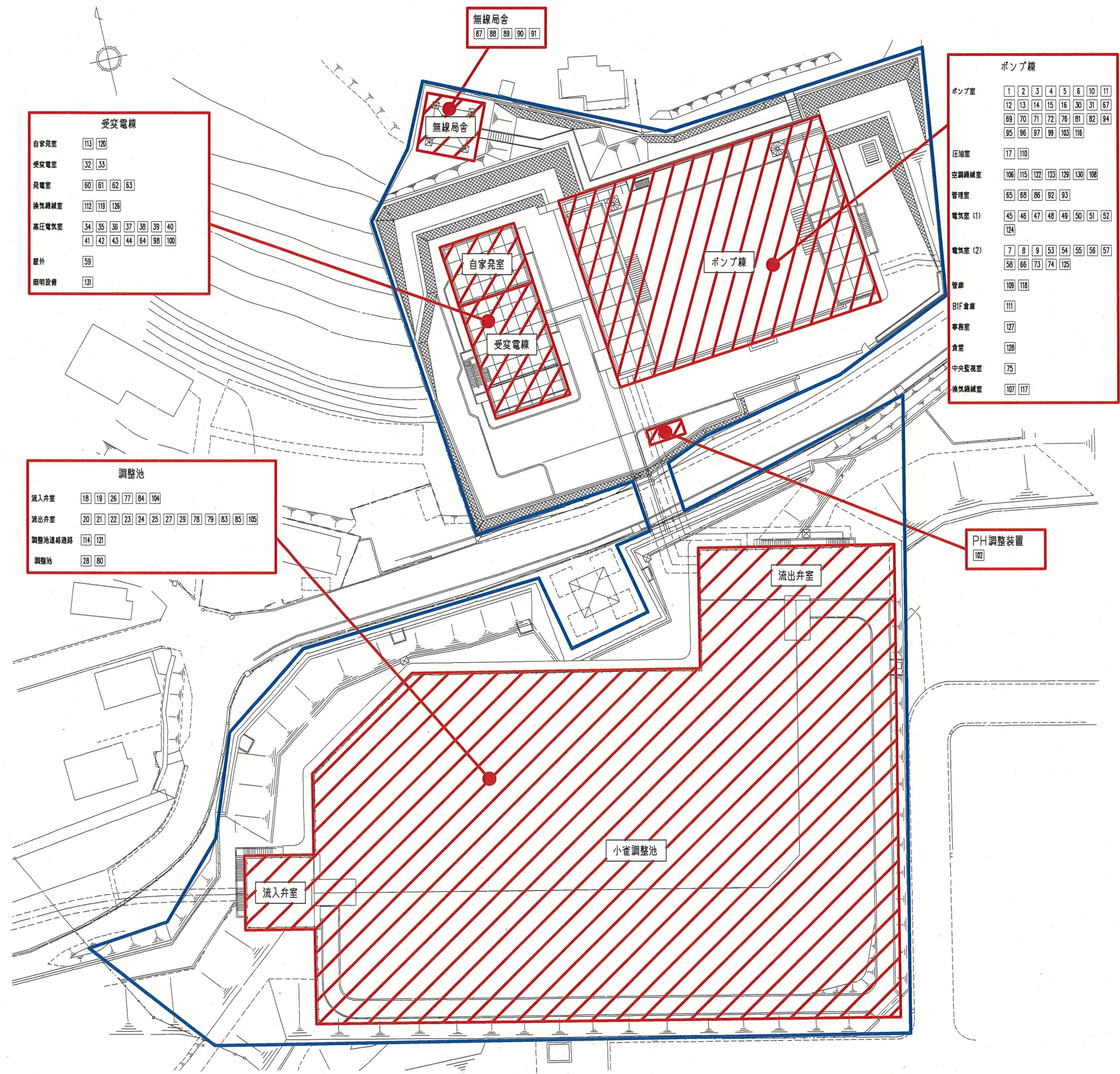
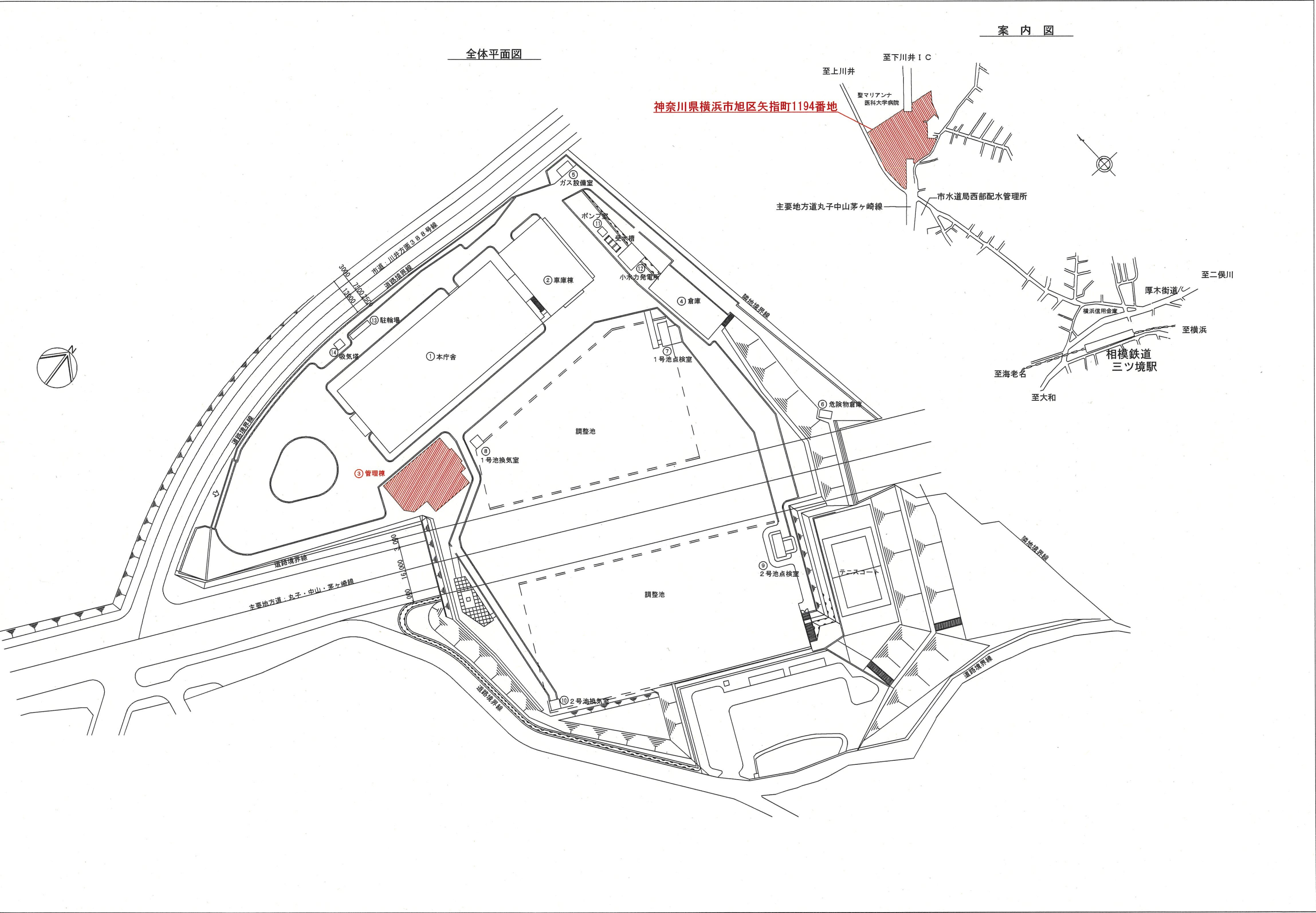


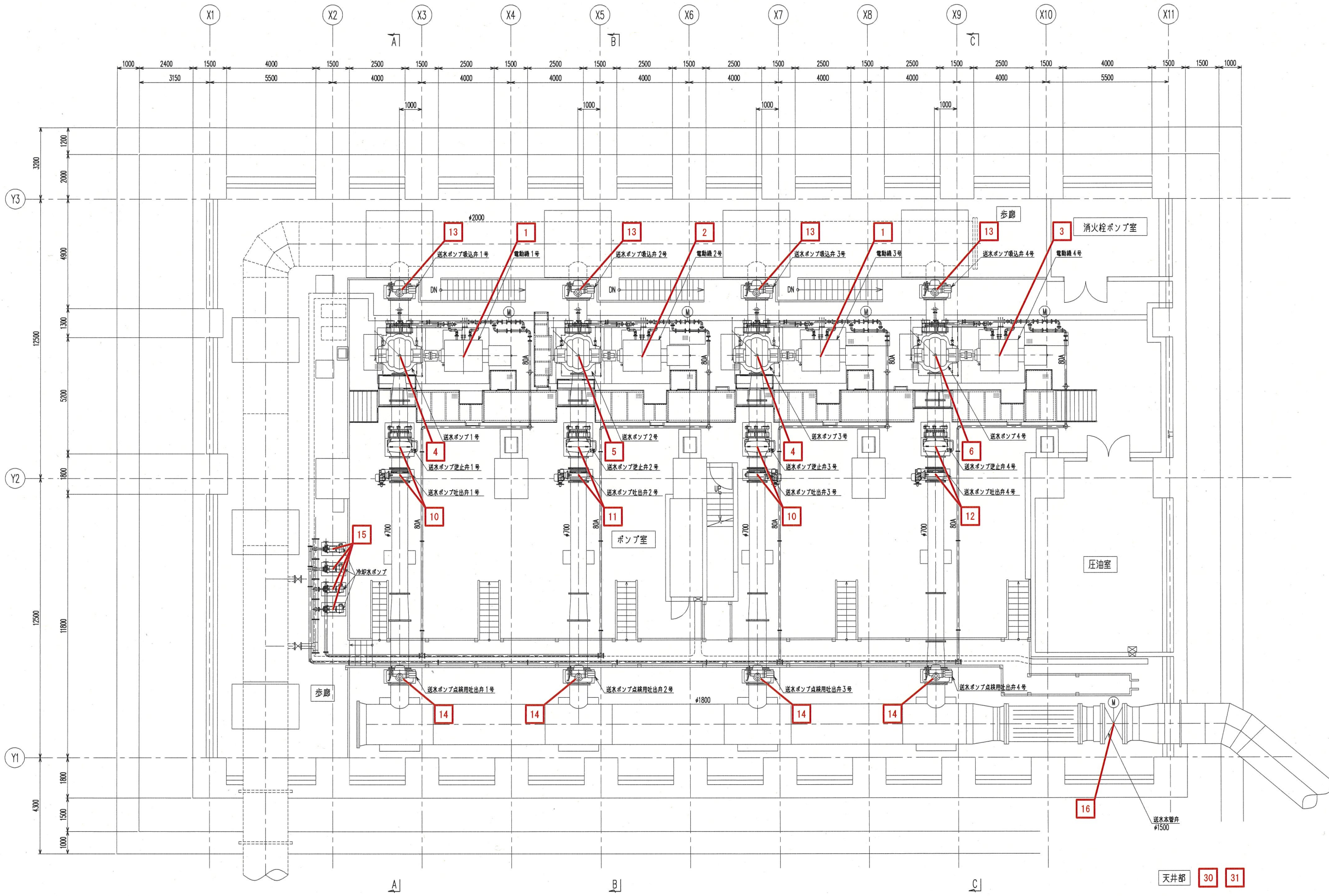


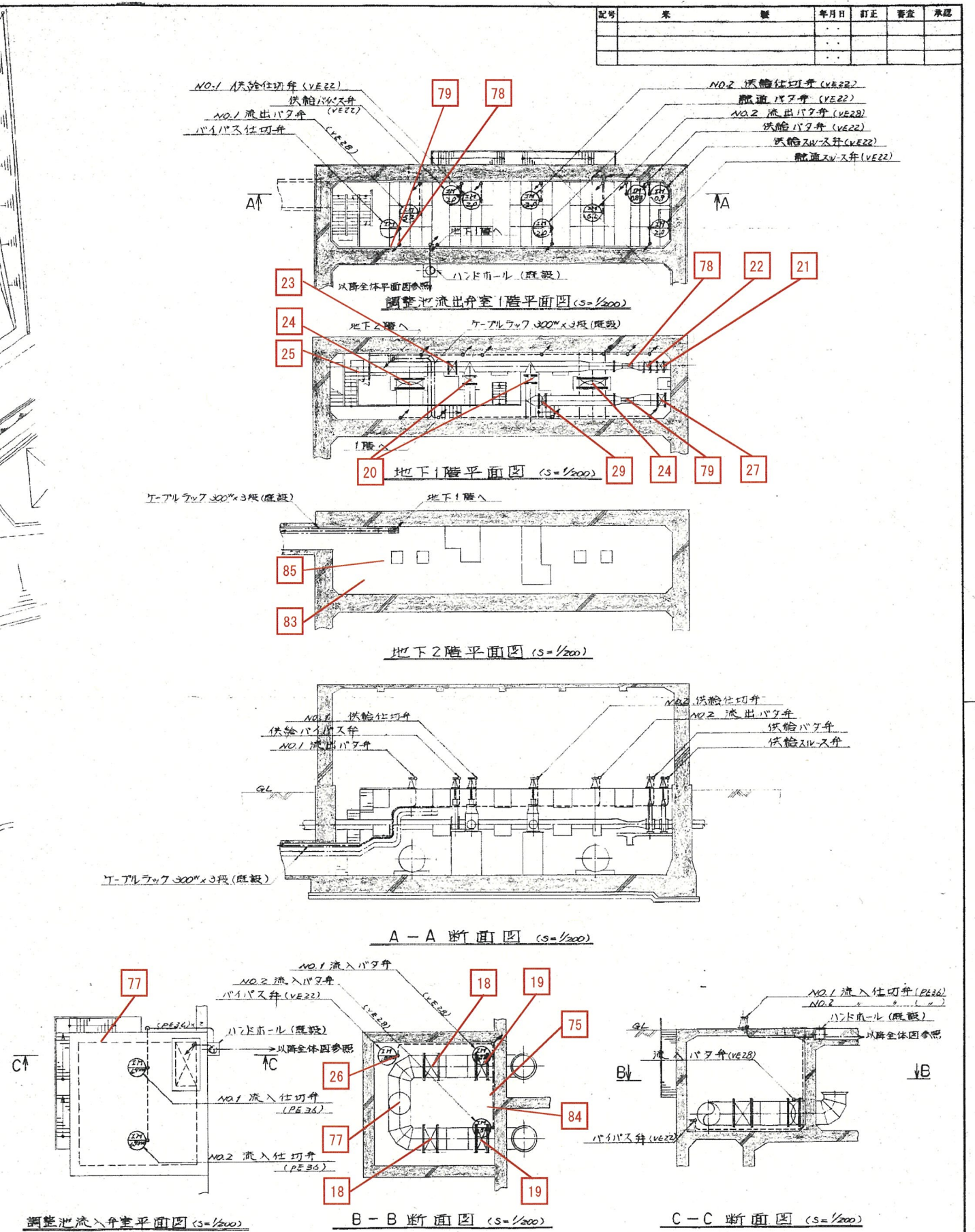
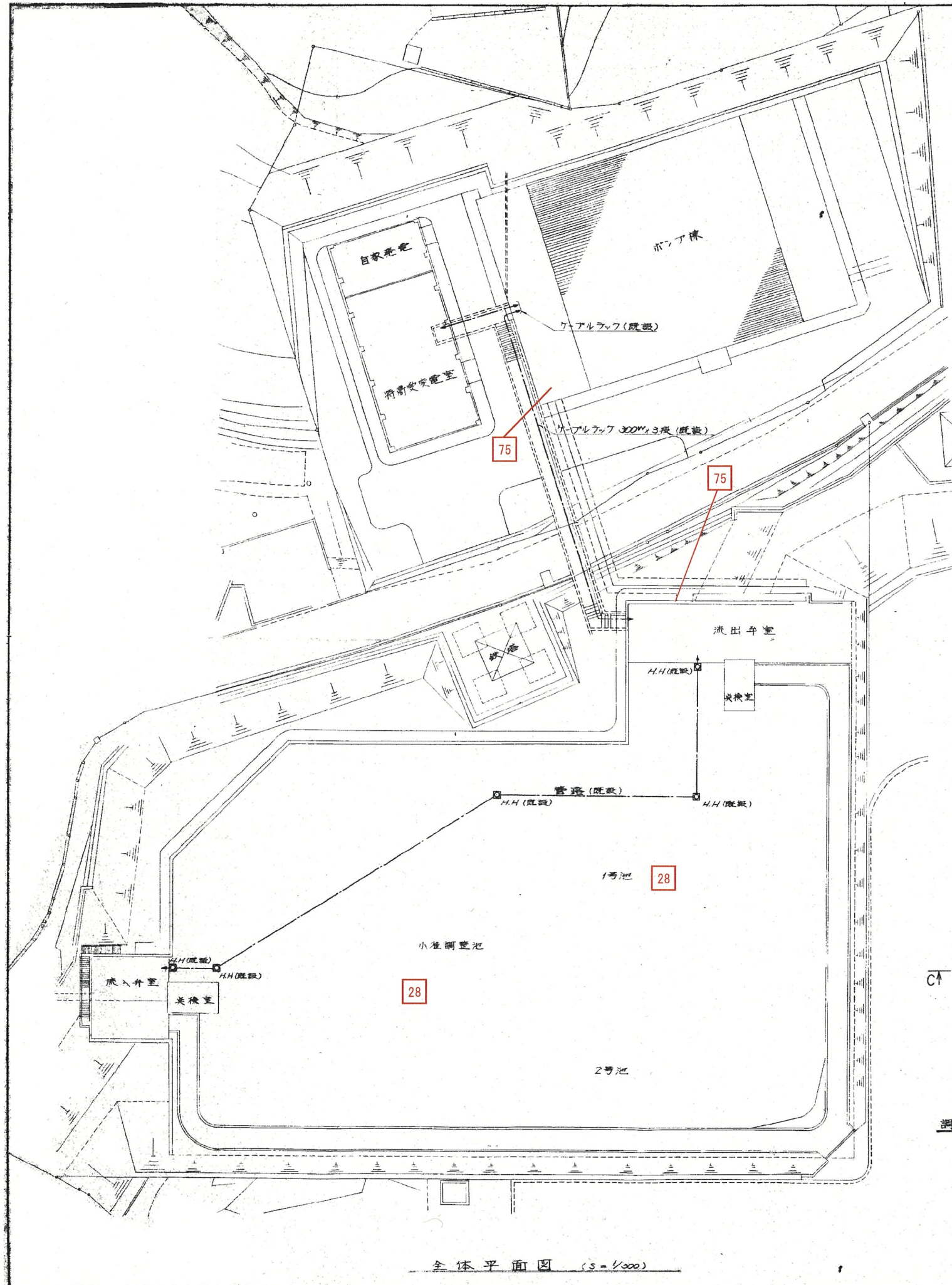
小雀ポンプ場DBM方式導入に関する対象設備一覧

No.	名 称	No.	名 称
1	送水ポンプ	70	監視制御設備
2	電動機	71	吐出水管弁
3		72	ロータリポンプ空気圧縮機現場盤
4	ポンプ	73	エドワヤー電源分岐盤
5		74	計装盤
6		75	共通補助電盤
7	速度制御装置	76	CCTV
8		77	計装設備
9		78	送水流量計
10	主ポンプ吐出弁	79	調整池流入流量計
11		80	供給流量計
12		81	配水流量計
13	送水ポンプ吸込側仕切弁	82	No. 1/No. 2 小雀調整池水位計
14	送水ポンプ吐出側仕切弁	83	送水圧力計
15	冷却水ポンプ	84	供給側電圧計
16	送水本管弁	85	小雀調整池入口側流量計
17	圧油設備(ロータリポンプ駆動用)(撤去)	86	小雀調整池出口側流量計
18	調整池流入仕切弁	87	無線設備
19	調整池流入バタ弁	88	無線設備収容架(マルチメディア併用多重設置)
20	調整池供給仕切弁	89	無線設備収容架
21	供給スルース弁	90	センター向け 第1・第2設置
22	供給バタ弁	91	交流分電盤(高用)
23	調整池供給バイパス弁	92	引込分電盤
24	調整池流出バタ弁	93	デハイトレーク
25	調整池バイパス弁	94	復旧機用電話設備
26	融通バタ弁	95	ハロン消火制御盤
27	融通スルース弁	96	消火ポンプ制御盤
28	水汲式バタ弁	97	消火栓ポンプ盤
29	融通バタ弁	98	小雀消防設備開閉器盤
30	搬入用天井クレーン	99	消火栓ポンプ室排気ファン
31	天井クレーン	100	ハロン消火設備端子盤
32	特高受変電設備	101	ハロン消火設備
33	主変圧器	102	消防設備
34	高低圧電気設備	103	給排水衛生・ガス設備
35	アクティブフィルタ盤	104	中和設備
36	アクティブフィルタ圧力器盤	105	排水ポンプ
37	逆相コンデンサ盤	106	流入弁室排水ポンプ
38	特高電気盤	107	流出弁室排水ポンプ
39	建築付帯設備分電盤	108	排気ファン
40	照明設備分電盤	109	排気ファン
41	受変電線接地端子盤	110	ポンプ室
42	東電取引計器盤	111	電気室
43	東電中継端子盤	112	空調機室
44	作業電源盤	113	管庫
45	高圧配電盤	114	圧油室
46	逆相コンデンサ盤	115	BIF調室
47	照明配電盤	116	特高
48	動力変圧器盤	117	自家発電
49	低圧分電盤(400V分電、200V分電、No.1照明分電)	118	調整池管庫
50	低圧動力分岐盤	119	空調機室
51	電力交換器盤	120	ポンプ室
52	接地端子盤	121	電気室
53	コントロールセンター	122	管庫
54	直流電源装置	123	特高
55	吐出水管弁用無停電電源装置	124	自家発電
56	制御用無停電電源装置	125	調整池管庫
57	無停電電源分岐盤	126	管理室
58	制御用分電盤	127	電気室1
59	非常用発電設備	128	電気室2
60	非常用発電設備電気盤	129	高圧
61	燃料移送ポンプ	130	事務室
62	燃料小出箱	131	食堂
63	非常用発電設備	132	排気ファン盤
64	自家発電給気ファン操作盤	133	排気機
65	監視制御設備	134	屋内設備
66	[PLC盤]	135	外灯設備
67	[リモート入出力装置]	136	交換機
68	プリンタ	137	多線能電話機
69	冷却水ポンプ盤	138	一般電話機
		139	FAX
			コードレス用アンテナ
			コードレス電話機
			監視制御設備

... 事業範囲

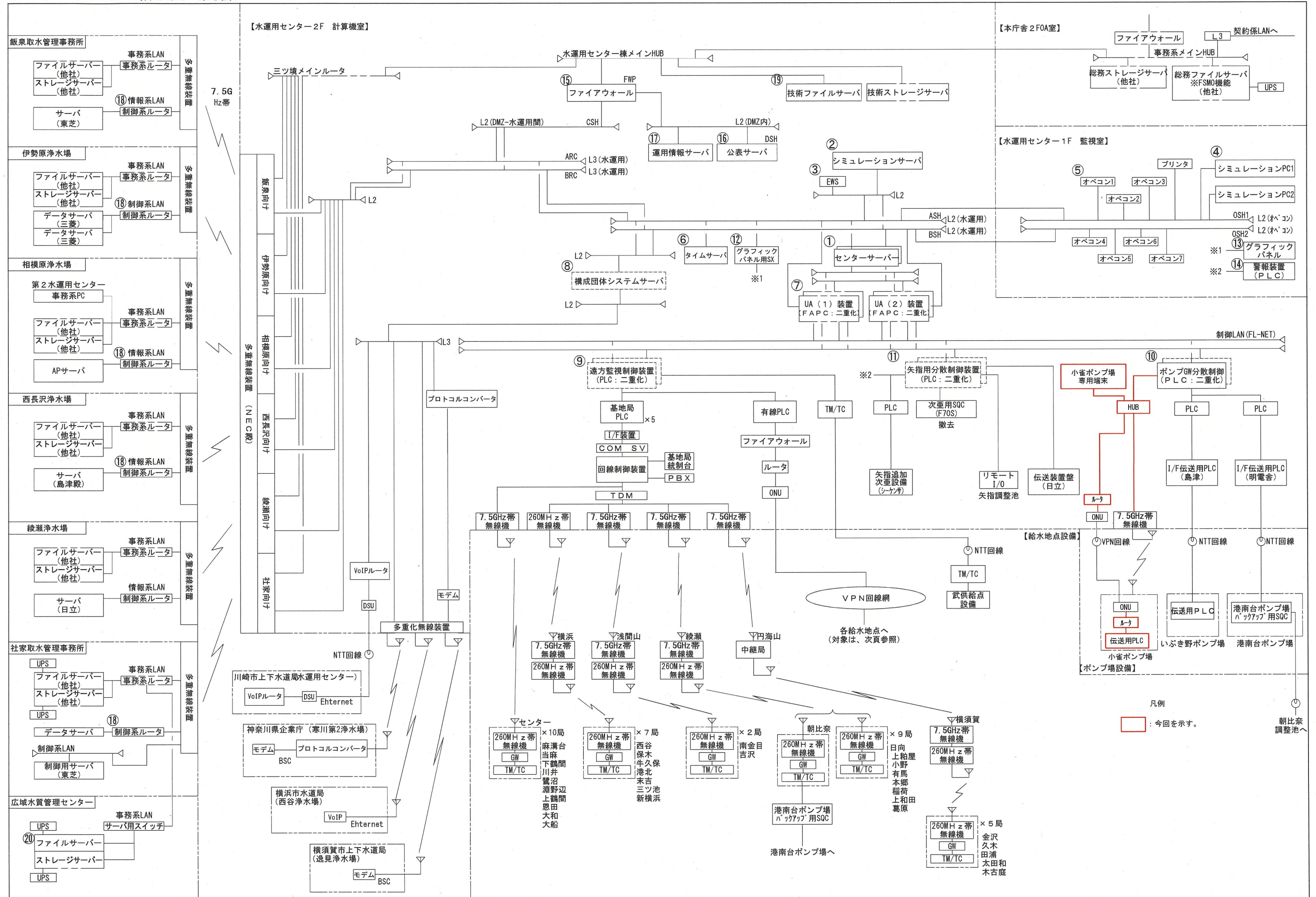




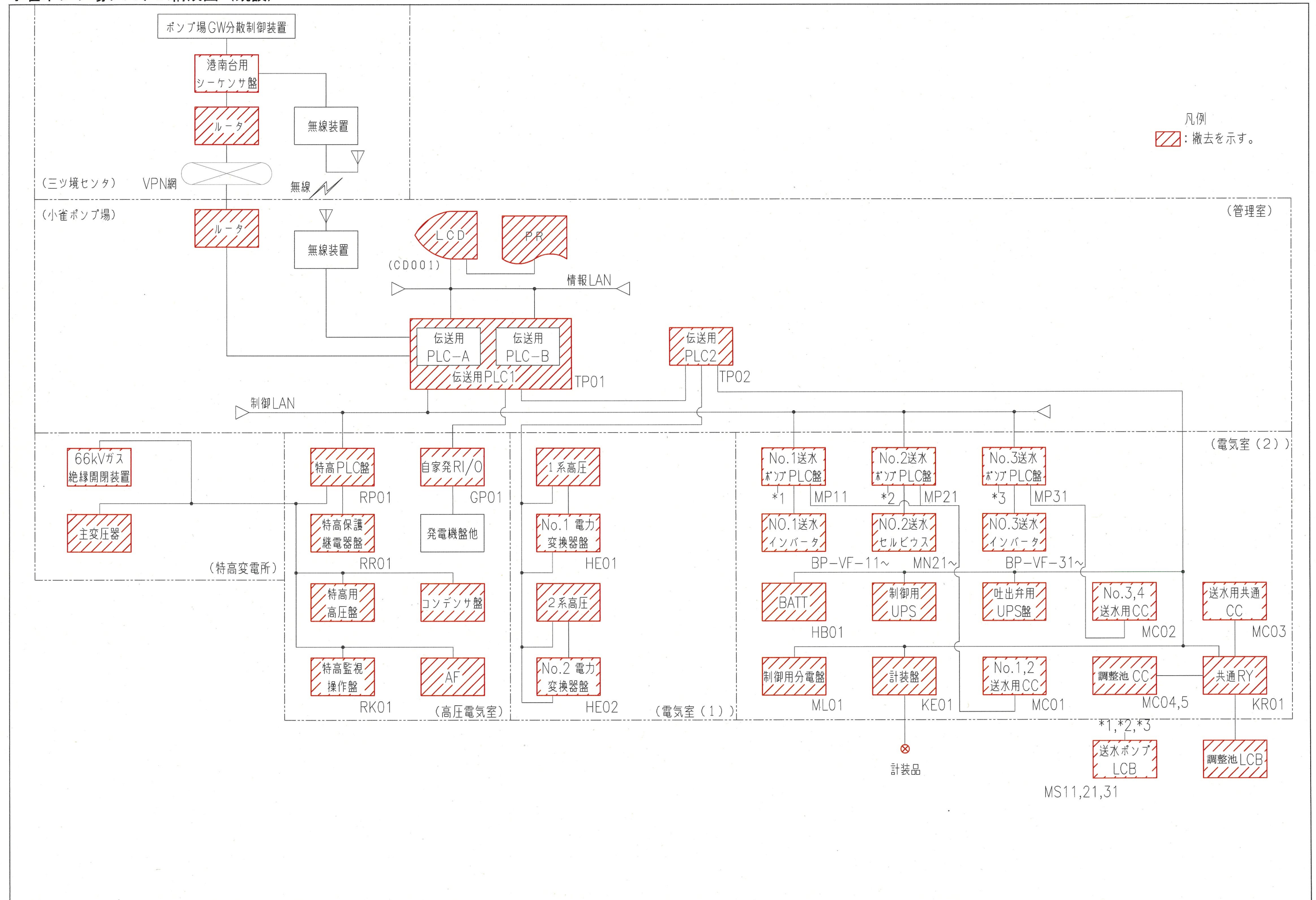


[illegible]

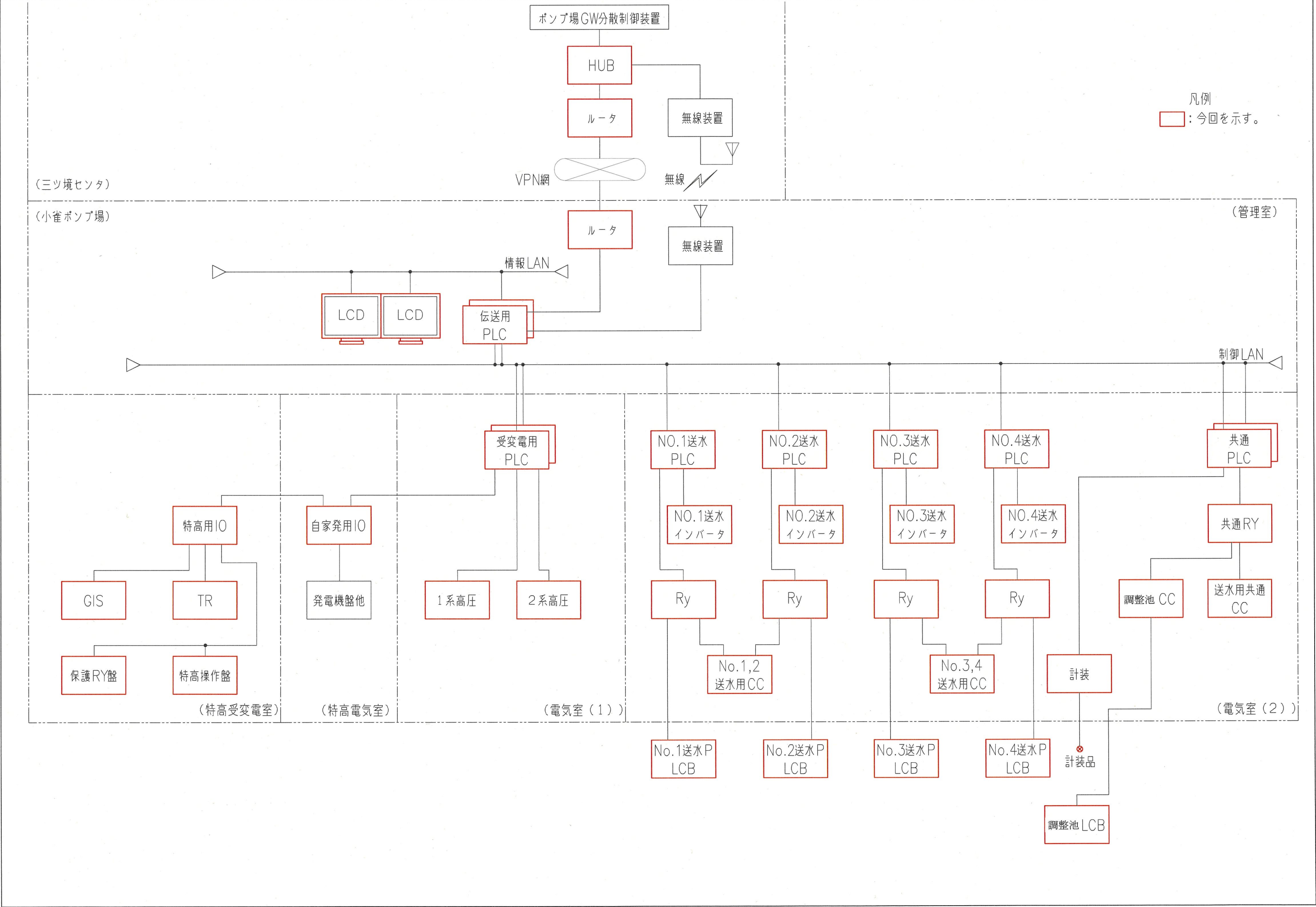
センターシステム構成図（更新）



小雀ポンプ場システム構成図（既設）



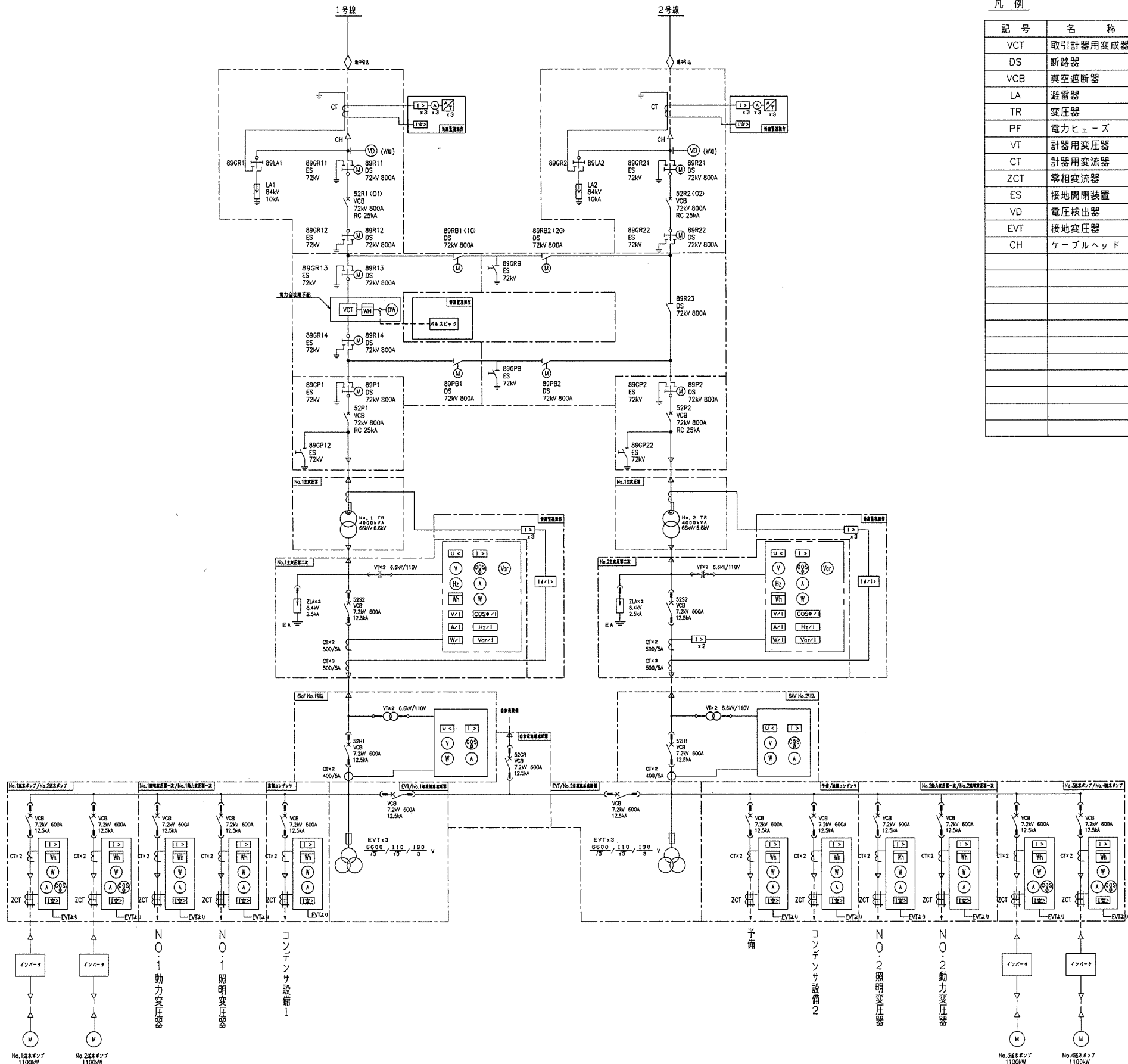
小雀ポンプ場システム構成図（更新）



計装フローシート

計測項目		小雀調整池流入流量		小雀調整池入口濁度		No.1流入バタ弁開度		No.2流入バタ弁開度		供給残留塩素		小雀調整池水位		融通バタ弁開度		融通流量		供給流量		供給バタ弁開度		小雀調整池出口濁度		送水ポンプ入口圧力		No.1送水ポンプ回転数		No.2送水ポンプ回転数		No.3送水ポンプ回転数		No.4送水ポンプ回転数		送水流量		送水圧力										
数量	全体	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1											
	今回	1	0	1	1	0	2	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1											
	既設	0	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1											
管理センタ																																														
中央監視室	無線	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○										
	LCD	○		○		開度設定		開度設定		○		○		開度設定		○		○		開度設定		○		○		○		○		○		○		○		○										
	伝送用PLC	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○										
	伝送路																					光ケーブル																								
電気室	共通用PLC	○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○										
	計装盤	I		I		I		I		I		I		I		I		I		I		I		I		I		I		I		I		I		I										
	INV盤	I		I		DB		DB		I		LA		DB		FQ		FQ		DB		DB		LA		DB		DB		FQ		LA		DB												
現場		線源浄水場		小雀調整池		小雀調整池		小雀調整池		小雀調整池		小雀調整池		小雀調整池		小雀調整池		小雀調整池		小雀調整池		小雀調整池		小雀調整池		小雀調整池		小雀調整池		小雀調整池		小雀調整池		小雀調整池		小雀調整池										
		撤去のみ		流入仕切弁		流入仕切弁		流入仕切弁		流入仕切弁		流入仕切弁		流入仕切弁		流入仕切弁		流入仕切弁		流入仕切弁		流入仕切弁		流入仕切弁		流入仕切弁		流入仕切弁		流入仕切弁		流入仕切弁		流入仕切弁		流入仕切弁										

単線結線図（特高）

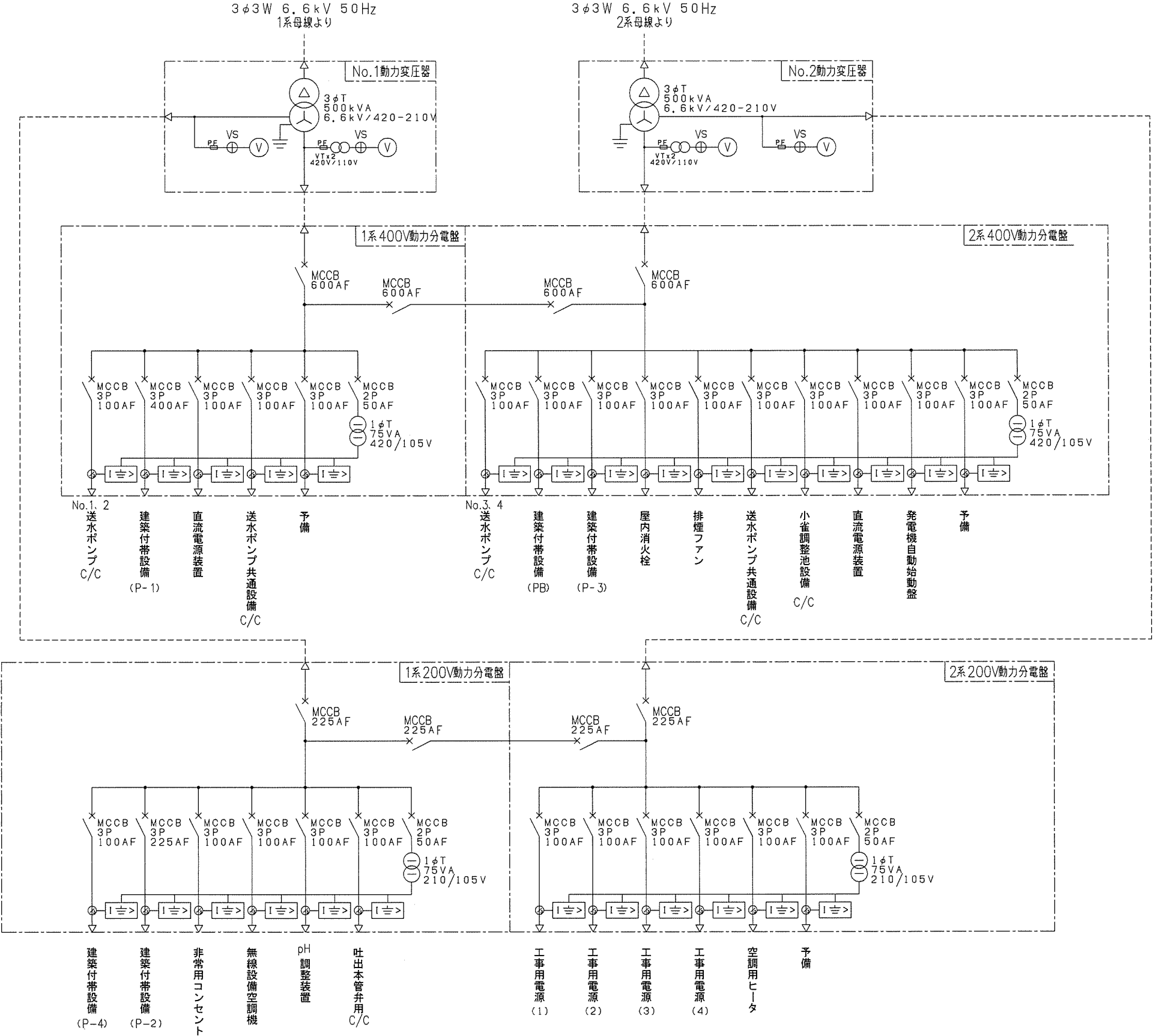


凡 例

記 号	名 称	記 号	名 称
VCT	取引計器用変成器	(A)	電流計
DS	断路器	(V)	電圧計
VCB	真空遮断器	(Wh)	積算電力計
LA	避雷器	(W)	電力計
TR	変圧器	(cosφ)	力率計
PF	電力ヒューズ	(Hz)	周波数計
VT	計器用変圧器	(Wt)	無効電力計
CT	計器用変流器	(V/I)	電圧変換器
ZCT	零相変流器	(A/I)	電流変換器
ES	接地開閉装置	(W/I)	電力変換器
VD	電圧検出器	(Var/I)	無効電力変換器
EVT	接地変圧器	(COSφ/I)	力率変換器
CH	ケーブルヘッド	(I>)	地絡方向継電器
		(I<)	過電流継電器
		(U<)	不足電圧継電器
		(U>)	地絡過電圧継電器
		(U>)	過電圧継電器
		(I>)	地絡過電流継電器
		(Id/I)	比率差動継電器

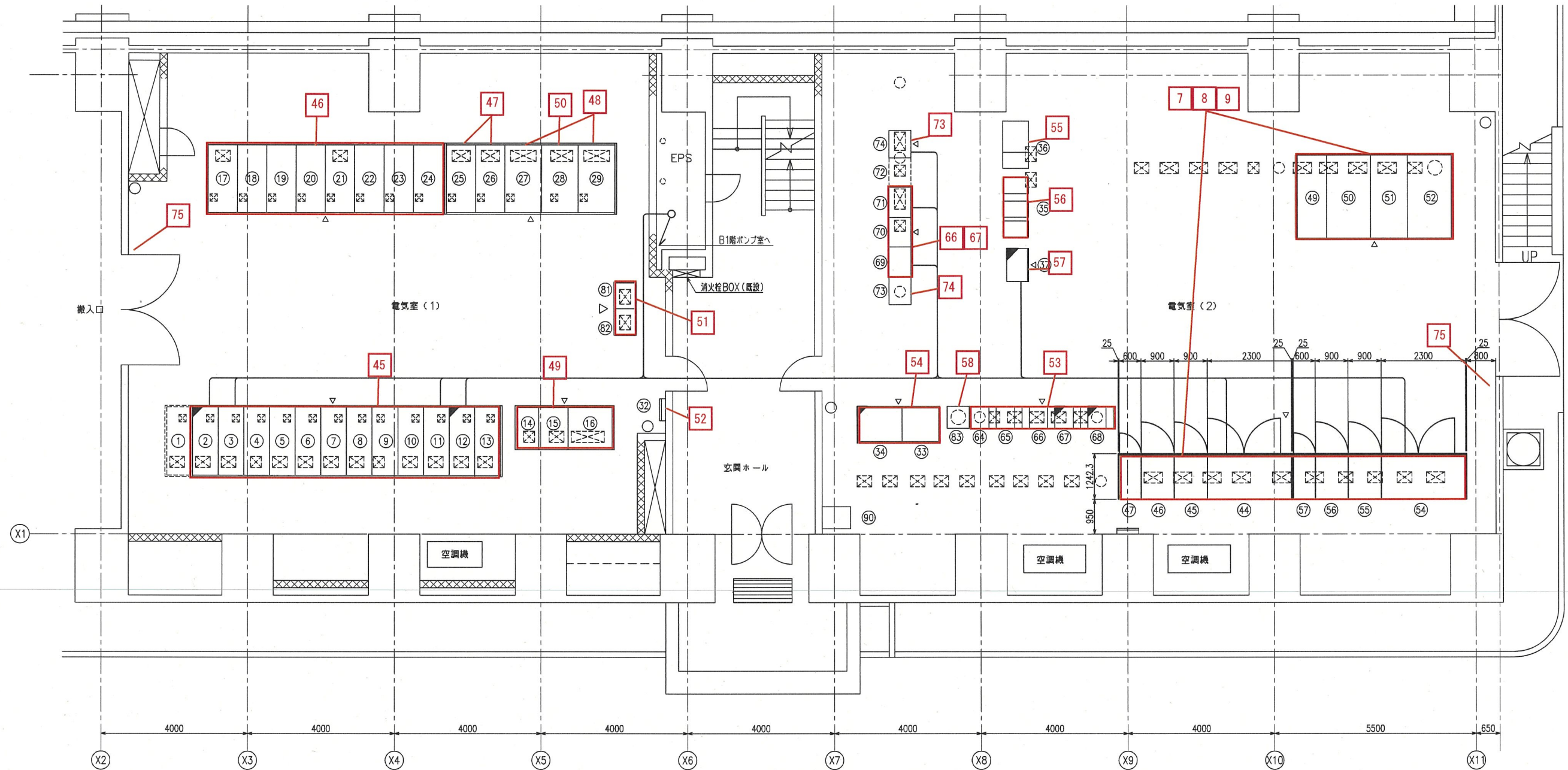
注)
1. すべて今回を示す。

単線結線図（低圧）



凡 例	
記 号	名 称
GT	ガスタービン
ACG	交流発電機
VCB	真空遮断器
VMC	真空電磁接触器
PF	電力ヒューズ
MCCB	配線用遮断器
T	変 圧 器
EVT	接地形計器用変圧器
CT	交 流 器
V	電 圧 計
A	電 流 計
⊕VS	電圧計切換スイッチ
⊕AS	電流計切換スイッチ
W	電 圧 計
PM	力 率 計
B	周 波 数 計
WH	電 力 量 計
U<	交流不足電圧継電器
I>	交流過電流継電器
I>2	地絡過電流継電器
U>2	地絡過電圧継電器
I>2	地絡方向継電器
U>	交流過電圧継電器
I<	差動継電器

注)
1. すべて今回を示す。

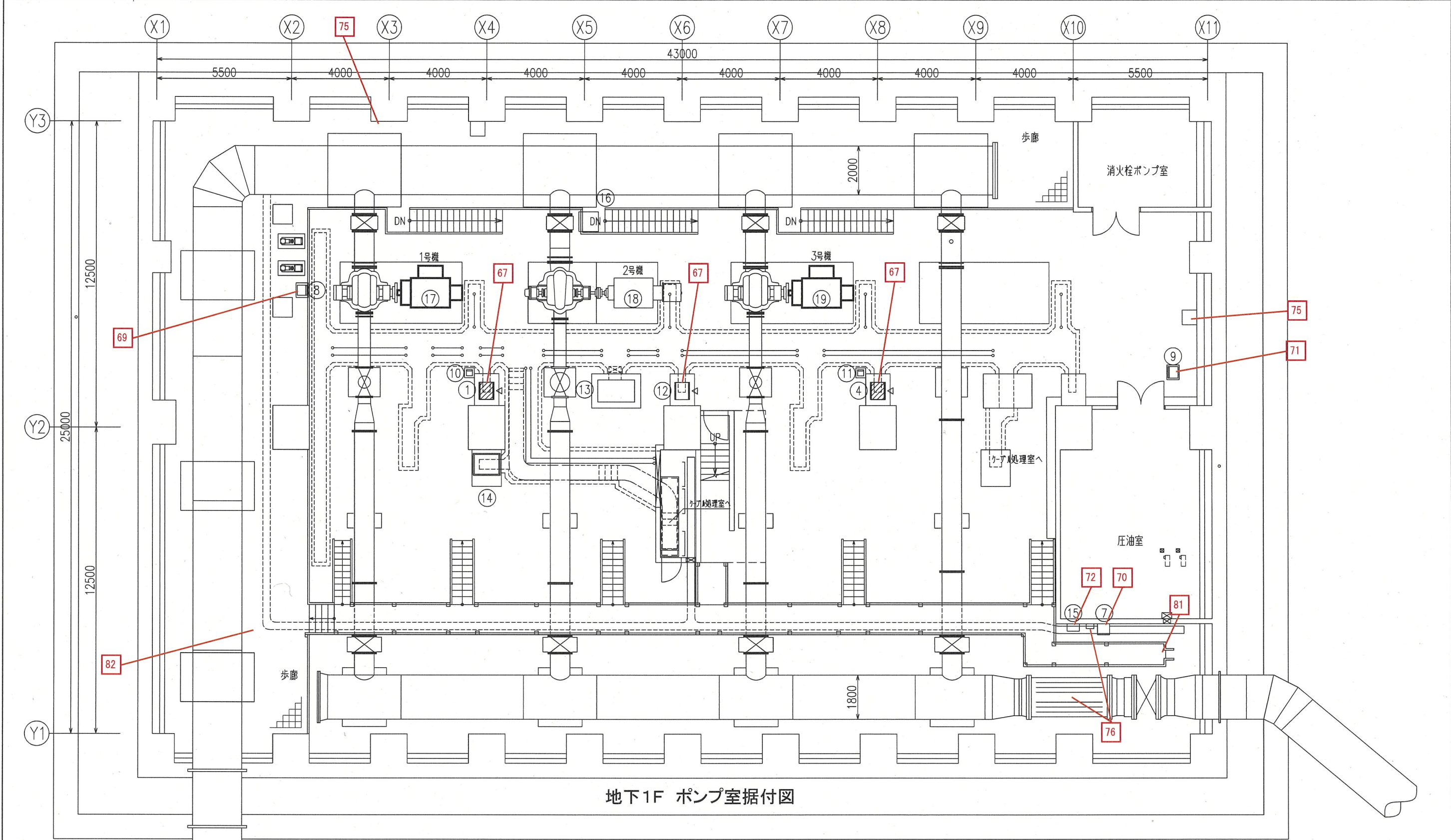


1階電気室平面図
S=1:60

機器一覽表

記号	盤番	盤名称	備考	記号	盤番	盤名称	備考	記号	盤番	盤名称	備考	記号	盤番	盤名称	備考
(1)	#HH26	No.4送水ポンプ/インバータ変圧器一次		(21)	# 21	2-1 " (250kVA)						(81)	HE11	No.1電力変換器	
(2)	# 25	No.3 " /インバータ変圧器一次		(22)	# 22	2-2 " (500kVA)						(82)	# 21	No.2 "	
(3)	# 24	No.2制御変圧器/コンデンサ主幹		(23)	# 23	2-3 " (")						(83)	ML01	制御用分電盤	
(4)	# 23	No.2母線PT/動力変圧器一次		(24)	# 24	2-4 " (")									
(5)	# 22	No.2電源PT/6kV5込		(25)	#HL12	No.1照明変圧器		(44)	BP-VF-11	No.1送水ポンプ多重変圧器盤		(64)	#MC05	コントロールセンタ	
(6)	# 21	No.2母線連絡/照明変圧器一次		(26)	# 22	No.2 "		(45)	# 12	No.1送水ポンプインバータ盤1		(65)	# 04	"	
(7)	# 01	発電機連絡/		(27)	# 11	No.1動力変圧器		(46)	# 13	No.1送水ポンプインバータ盤2		(66)	# 03	"	
(8)	# 11	No.1母線連絡/照明変圧器一次		(28)	# 01	低圧動力分岐		(47)	# 14	No.1送水ポンプ制御盤		(67)	# 02	"	
(9)	# 12	No.1電源PT/6kV5込		(29)	# 21	No.2動力変圧器						(68)	# 01	"	
(10)	# 13	No.1母線PT/動力変圧器一次						(49)	#MN21	No.2送水ポンプ二次接触器		(69)	#MP11	No.1送水ポンプPLC盤	
(11)	# 14	No.1制御変圧器/コンデンサ主幹						(50)	# 22	" " SR.HSCB		(70)	#MP21	No.2送水ポンプPLC盤	
(12)	# 15	No.1送水ポンプ/インバータ変圧器一次		(32)	—	接地端子盤		(51)	# 23	" " THY		(71)	#MP31	No.3送水ポンプPLC盤	
(13)	# 16	No.2送水ポンプ/インバータ変圧器一次		(33)		蓄電池		(52)	# 24	" " インバータ変圧器		(72)	#MP41	No.4送水ポンプPLC盤	
(14)	#HM03	200V分電		(34)		整流器盤						(73)	#KR01	共通補助電器盤	
(15)	# 02	No.1照明分電		(35)		制御用UPS		(54)	BP-VF-31	No.3送水ポンプ多重変圧器盤		(74)	#KE01	計装盤	
(16)	# 01	400V分電		(36)		吐出水管并用UPS		(55)	# 32	No.3送水ポンプインバータ盤1					
(17)	#HC11	1-1コンデンサ (250kVA)		(37)		無停電電源分岐盤		(56)	# 33	No.3送水ポンプインバータ盤2					
(18)	# 12	1-2 " (500kVA)						(57)	# 34	No.3送水ポンプ制御盤					
(19)	# 13	1-3 " (")													
(20)	# 14	1-4 " (")													

[illegible]



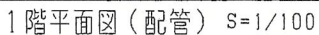
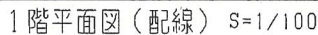
地下1F ポンプ室据付図

機器一覧表

記号	盤番	盤名称	備考
(1)	#MS11	No.1 送水ポンプ現場操作盤	
(4)	#MS31	No.3 送水ポンプ現場操作盤	
(7)	#KS01	吐出本管弁盤	
(8)	#MS02	冷却水ポンプ盤	

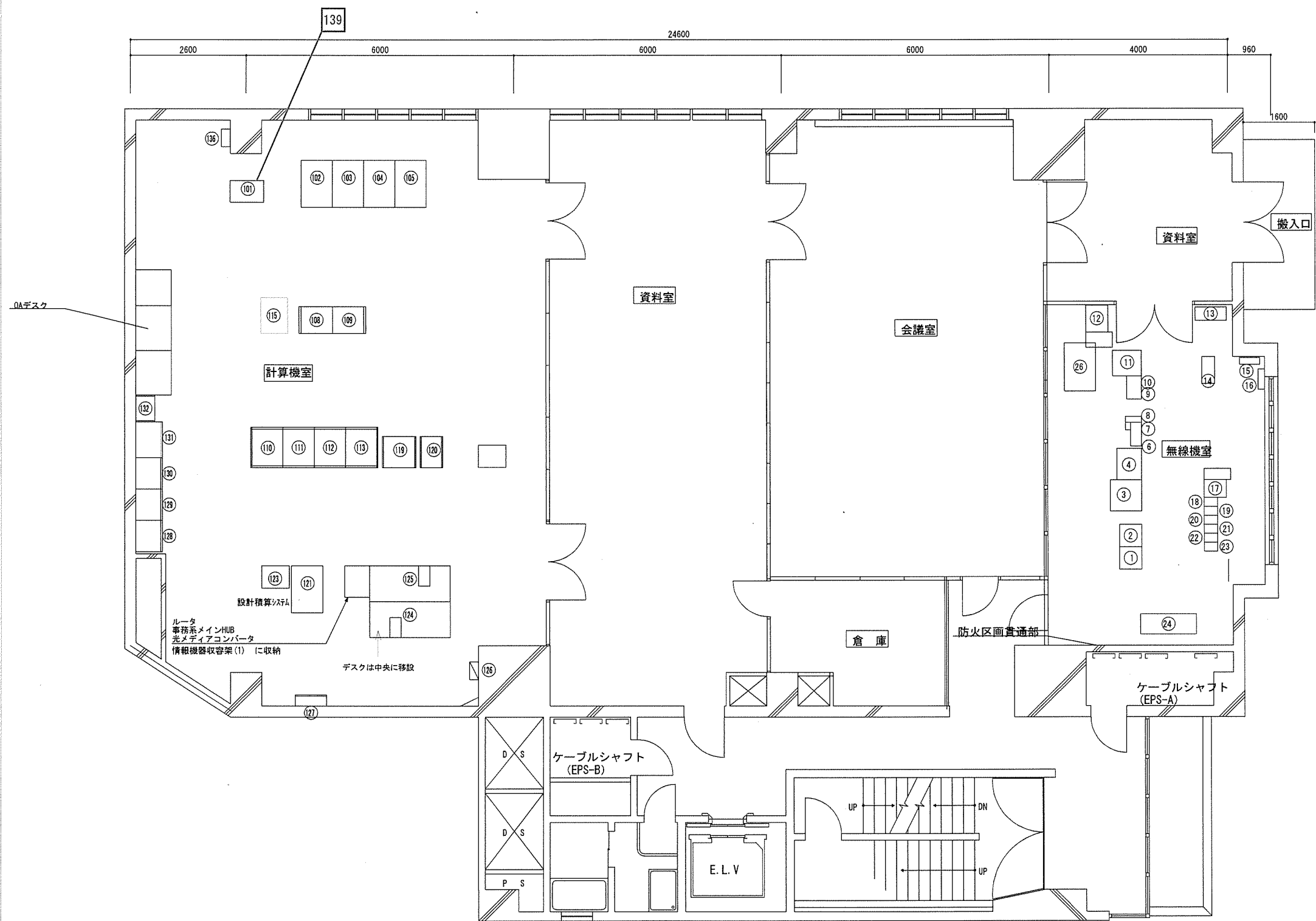
記号	盤番	盤名称	備考
(9)	#MS01	ロータ弁圧油ポンプ空気圧縮機盤	
(10)		No.1,2 送水ポンプ振動測定	
(11)		No.3,4 送水ポンプ振動測定	
(12)	#MS21	No.2 送水ポンプ現場操作盤	
(13)		No.2 1450kW始動用液体抵抗器	
(14)	#MS22	No.2 送水ポンプ/液体抵抗器盤	
(15)		エアドライヤー分電盤	
(16)		カーボナスト集塵装置	

記号	盤番	盤名称	備考
(17)		No.1 送水ポンプ電動機	
(18)		No.2 送水ポンプ電動機	
(19)		No.3 送水ポンプ電動機	



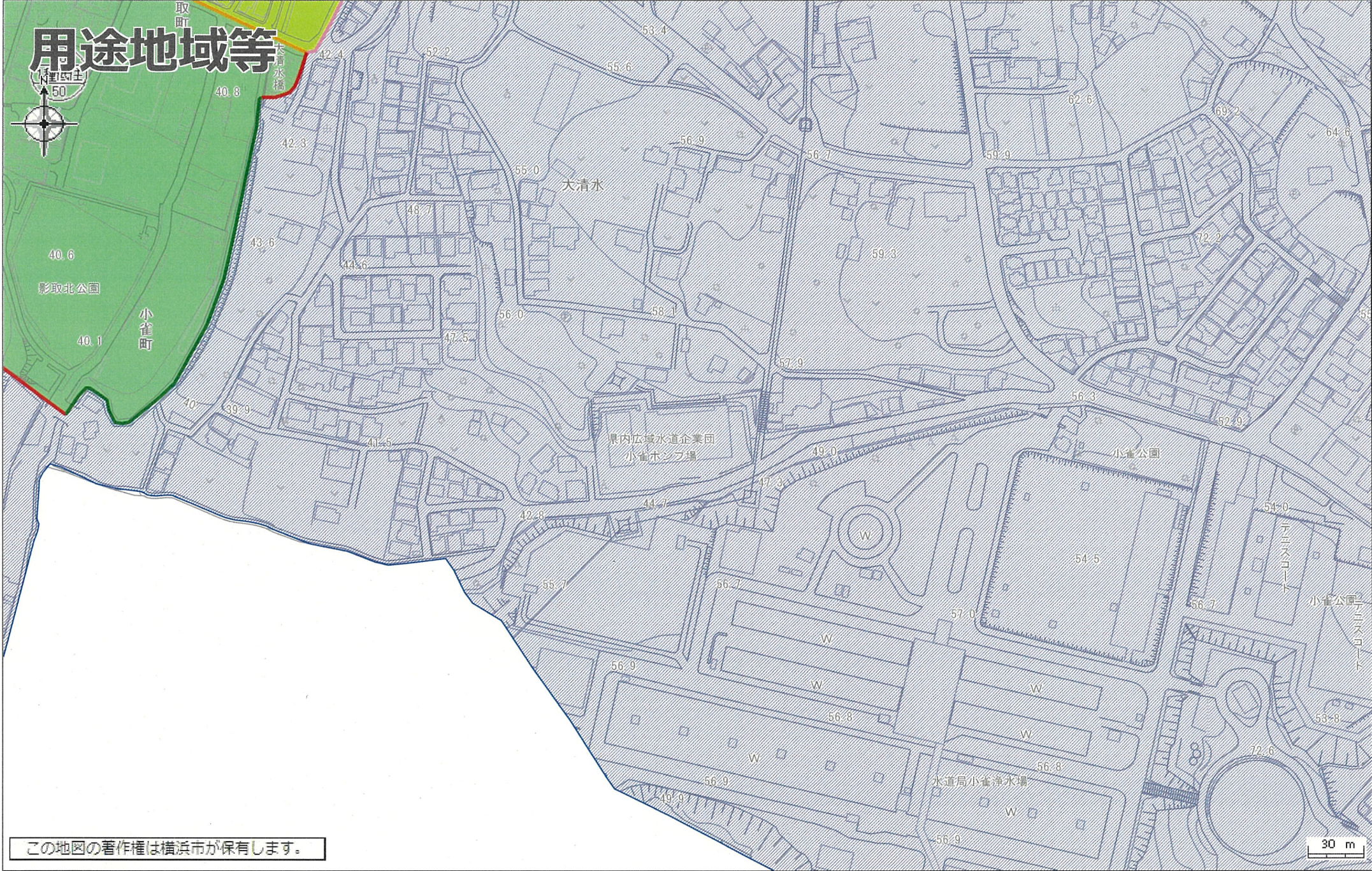
盤 名 称 一 覧 表							
番 号		盤 名 称	備 考	番 号		盤 名 称	備 考
①	—	66kVガス絶縁開閉装置		⑪			
②	—	No.1主変圧器		⑫	RA11	No.1アクティブフィルタ盤	
③	—	No.2主変圧器		⑬	RA21	No.2アクティブフィルタ盤	
④	RM14	No.1 A/F変圧器		⑭	RK01	特高監視操作盤	
⑤	RM13	No.1 A/F用変圧器1次		⑮	RR01	特高保護継電器盤	
		No.1コンデンサ主幹		⑯	—	作業用電源盤	
		No.1母線 GVT		⑰	RT01	東電中継端子盤	
⑥	RM12	No.1連絡遮断器		⑱	—	東電取引計器盤	
		No.1主変圧器二次VT, ZLA		⑲		特高PLC盤	
⑦	RM11	No.1主変圧器二次					
		No.1主変圧器二次					
⑧	RM21	No.2主変圧器二次VT, ZLA					
		No.2主変圧器二次					
		No.2主変圧器母線 GVT					
⑨	RM22	No.2連絡遮断器					
		No.2 A/F用変圧器1次		①	G-01	発電機盤(1)	
⑩	RM23	No.2コンデンサ主幹		②	G-02	発電機盤(2)	
⑪	RM24	No.2 A/F変圧器		③	G-DC	始動用直流電源盤	
⑫	RH13	3-1コンデンサ		④		換気装置[55dB(A)]ファン15kW×2	
⑬	RH12	3-2 "		⑤		給気装置[55dB(A)]ファン15kW×2	
⑭		自家発電 R1/O盤		⑥		給油ボックス	
⑮	P-4	送電付帯設備分電盤		⑦		燃料小出槽(990L)	
⑯	L-4	照明設備分電盤		⑧		地下燃料タンク(20000L)	

水運用センター 2階平面図



No	盤記号	盤名称	設置工事名
1		第3～第14無線電話装置用7MVA 47時分割多重装置	
2		第3～第14無線電話装置用7MVA 47時分割多重装置	
3		多重化装置監視端末	
4		遠方監視制御装置(操作端末)	
5			
6		第1・第2無線電話装置(南浦台・当麻・下鴨岡・川井・鷺沼)	
7		260MHzデジタル無線用フィルタ装置	
8		制御局制御装置	
9			
10		直接系子局向装置	
11		企業団センター(基地局)	
12		音声きぎょうだん711	
13		無線用分電盤	
14		総合制御卓中間接続架	
15		簡易形空気乾燥装置	
16		神奈川県防災行政通信網防災分電盤	
17		遠方監視制御装置盤	
18		第13・第14無線電話装置(蔵山・横浜・円山・小雀)	
19		第11・第12無線電話装置(綾瀬)	
20		第3・第4無線電話装置(西長沢)	
21		第5・第6無線電話装置(相模原)	
22		第7・第8無線電話装置(伊勢原)	
23		第9・第10無線電話装置(浅間山)	
24		空調機(無線機室用)	
25			
26		収納ラック(ゲートウェイシステム)	
101		港南台用シーケンサ盤	
102		DMZシステム	
103		水運用システム(A系)	
104		水運用システム(B系)	
105		構成団体システム	
106			
107			
108		補助継電器盤(R01)	
109		伝送装置盤(T01)	
110		矢指用分散制御装置	
111		ポンプ場GW分散制御装置	
112		遠方監視制御装置(1)	
113		遠方監視制御装置(2)	
114			
115		給水地点監視カメラ等システム	
116			
117			
118			
119		グラパネコントローラ盤	
120		供給点システム インターフェース装置	
121		設計積算システム	
122			
123		ITV制御盤	
124		EUC(シミュレーションサーバ)、EWS	
125		技術ファイルサーバ	
126		設計積算システム電源盤	
127		空調動力盤(M-2-1)	
128		2階分電盤(1)	
129		2階分電盤(2)	
130		2階分電盤(3)	
131		2階分電盤(4)	
132		計算機分電盤	
133			
134			
135			
136		IDF 50P	

水運用センター2階平面図



この地図の著作権は横浜市が保有します。

(凡 例)

- 第1種低層住居専用地域
- 第2種低層住居専用地域
- 第1種中高層住居専用地域
- 第2種中高層住居専用地域
- 第1種住居地域
- 第2種住居地域
- 準住居地域

- 近隣商業地域
- 商業地域 (第7種高度地区)
- 商業地域 (第6種高度地区)
- 商業地域 (最低限1種高度地区)
- 商業地域 (最低限2種高度地区)

- 準工業地域 (第5種高度地区)
- 準工業地域 (第7種高度地区)
- 工業地域 (第5種高度地区)
- 工業地域 (第7種高度地区)
- 工業専用地域
- 最低限3種高度地区
- 市街化調整区域

- 用途界
- 道路界
- 地番界 (区域区分のみ)
- 地形地物界等 (区域区分のみ)
- 都市計画道路
- 都市計画河川

※区域区分界については線種ごとに色分け



旗の位置に関するものは次の通りです。
お調べの土地が境界付近の場合は、担当課にご確認ください。

左の図は都市計画の法定図面ではありませんので、
公に証明する資料として利用することはできません。参考図としてご利用ください。
注) 地区計画、市街化調整区域等や前面道路状況等
により上記の建築制限内容が変わる場合があります
ので、詳細については各担当課にご確認ください。

【別紙３】対象設備一覧

No.	名称			数量	竣工年度	設 置 場 所		既設メーカー	撤去	新設	増設	更新	流用	保守修繕	備考	
1	送水ポンプ	電動機	1、3号	2台	2017	ポンプ棟	ポンプ室	日立製作所				○	○	○	・更新又は流用 ただし、流用の場合はオーバーホールを行うこと	
2			2号	1台	2000		ポンプ室	日立製作所				○		○		
3			4号	1台	—		ポンプ室	—		○			○			
4		ポンプ	1、3号	2台	1992		ポンプ室	日立製作所				○	○	○	・更新又は流用 ただし、流用の場合はオーバーホールを行うこと	
5			2号	1台	2000		ポンプ室	日立製作所				○		○		
6			4号	1台	—		ポンプ室	—		○			○			
7		速度制御装置	1、3号	2台	2017		電気室(2)	日立製作所				○		○	・VVVF方式で更新 ・VVVF方式で更新	
8			2号	1台	2000			日立製作所				○		○		
9			4号	1台	—			電気室(2)	—		○			○		・VVVF方式で新設
10	主ポンプ吐出弁		1、3号	2台	1992	ポンプ室	—				○		○	・バタフライ弁＋逆止弁で更新		
2号			1台	2000	ポンプ室	—				○		○	・バタフライ弁＋逆止弁で更新			
12			4号	1台	—	ポンプ室	—		○			○	・バタフライ弁＋逆止弁で新設			
13	送水ポンプ吸込側仕切弁		1～4号	4台	1987	ポンプ室	—					△	○	・4号は新設、1～3号はバルブコントローラのみ更新		
14	送水ポンプ吐出側仕切弁		1～4号	4台	1987	ポンプ室	—					△		○	・4号は新設、1～3号はバルブコントローラのみ更新	
15	冷却水ポンプ		1、2号	2台	2016	ポンプ室	—					○		○		
16	送水本管弁			1台	1988	ポンプ室	—					△		○	・バルブコントローラのみ更新	
17	圧油設備 (ロート弁駆動用)	貯油槽、圧油ポンプ 圧油槽、空気圧縮機、 エアドライヤ		1式	1992	圧油室	—		○						・吐出弁の弁方式変更に伴い撤去	
18	調整池流入仕切弁		1～2号	2台	1985	調整池	流入弁室	—				△		○	・バルブコントローラのみ更新	
19	調整池流入バタ弁		1～2号	2台	1985		流入弁室	—				△		○	・バルブコントローラのみ更新	
20	調整池供給仕切弁		1～2号	2台	1985		流出弁室	—				△		○	・バルブコントローラのみ更新	
21	供給スルース弁			1台	1985		流出弁室	—				△		○	・バルブコントローラのみ更新	
22	供給バタ弁			1台	1985		流出弁室	—				△		○	・バルブコントローラのみ更新	
23	調整池供給バイパス弁			1台	1985		流出弁室	—				△		○	・バルブコントローラのみ更新	
24	調整池流出バタ弁		1～2号	2台	1985		流出弁室	—				△		○	・バルブコントローラのみ更新	
25	調整池バイパス弁		2号	1台	1985		流出弁室	—				△		○	・バルブコントローラのみ更新	
26	調整池バイパス弁		1号	1台	1985		流入弁室	—				△		○	・バルブコントローラのみ更新	
27	融通スルース弁			1台	1986	流出弁室	—					△		○	・バルブコントローラのみ更新	
28	水没式バタ弁		1～2号	2台	1987	調整池	—					△		○	・バルブコントローラのみ更新	
29	融通バタ弁			1台	1988	調整池	—					△		○	・バルブコントローラのみ更新	
30	搬入用天井クレーン			1台	1991	ポンプ棟搬入室	—						○			
31	天井クレーン			1台	1991	ポンプ棟ポンプ室	—						○			
32	特高受変電設備	ガス絶縁開閉装置		1式	2000	受変電棟受変電室	日立製作所					○		○	・環境配慮型設備で更新	
33		主変圧器		1式	2000	受変電棟受変電室	日立製作所					○		○	・環境配慮型設備で更新	
34	高低圧電気設備	高圧配電盤		6面	2000	受変電棟電気室	—					○		○		
35		アクティブフィルタ盤		2面	2000	受変電棟電気室	—		○						・撤去	
36		アクティブフィルタ変圧器盤		2面	2000	受変電棟電気室	—		○						・撤去	
37		進相コンデンサ盤		2面	2000	受変電棟電気室	—					○		○	・ポンプ棟電気室と統合	
38		特高電気盤		2面	2000	受変電棟電気室	—					○		○		
39		建築付帯設備分電盤		1面	2000	受変電棟電気室	—					○		○		
40		照明設備分電盤		1面	2000	受変電棟電気室	—					○		○		
41		受変電棟接地端子盤		1面	1988	受変電棟電気室	—					○		○		
42		東電取引計器盤		1面	1999	受変電棟電気室	—							○		
43		東電中継端子盤		1面	2000	受変電棟電気室	—							○		
44		作業電源盤		1面	1999	受変電棟電気室	—								○	
45		高圧配電盤		12面	1992	ポンプ棟電気室(1)	—					○		○		
46		進相コンデンサ盤		8面	1992	ポンプ棟電気室(1)	—					○		○	・受変電棟電気室と統合	
47		照明変圧器盤		2面	1992	ポンプ棟電気室(1)	—					○		○		
48		動力変圧器盤		3面	1992	ポンプ棟電気室(1)	—					○		○		
49		低圧分電盤 (400V分電、200V分電、No1照明分電)		3面	1992	ポンプ棟電気室(1)	—					○		○	・維持管理性を考慮した2系統分割構成とする	
50		低圧動力分岐盤		1面	1987	ポンプ棟電気室(1)	—					○		○		
51		電力変換器盤		2面	1991	ポンプ棟電気室(1)	—					○		○		
52		接地端子盤		1面	1992	ポンプ棟電気室(1)	—					○		○	・接地幹線および接地極も更新	
53		コントロールセンター		5面	1999	ポンプ棟電気室(2)	—					○		○		
54		直流電源装置		1組	2012	ポンプ棟電気室(2)	GSユアサ					○		○		
55		吐出本管弁用無停電電源装置		1組	2025	ポンプ棟電気室(2)	山洋電気		○							・逆止弁新設により逆流対策となるため
56		制御用無停電電源装置		1組	2025	ポンプ棟電気室(2)	山洋電気					○		○		
57		無停電電源分岐盤		1面	2012	ポンプ棟電気室(2)	—					○		○		
58		制御用分電盤		1面	1991	ポンプ棟電気室(2)	—					○		○		
59		非常用発電設備	地下燃料タンク		1基	2013	受変電棟 屋外	—				○			○	・既設20,000Lに対して、40,000Lの燃料タンクを増設して、合計60,000Lのタンクとする ・既設の燃料タンクは保守修繕業務の対象外とする
60			非常用発電設備電気盤		1組	2013	受変電棟発電機室	—						○		・タンク増設に伴う改造 ・必要な改造を既設メーカーへ別途発注する
61	燃料移送ポンプ			2台	2013	受変電棟発電機室	—						○		・タンク増設に伴う改造 ・必要な改造を既設メーカーへ別途発注する	
62	燃料小出槽			1台	2013	受変電棟発電機室	—						○		・タンク増設に伴う改造 ・必要な改造を既設メーカーへ別途発注する	
63	非常用発電設備			1式	2013	受変電棟発電機室	メタウォーター						○			
64	自家発電給気ファン操作盤			1面	2013	受変電棟電気室	—						○			
65	監視制御設備	中央処理装置		1台	2012	ポンプ棟管理室	日立製作所					○		○	・管理室からポンプ場・調整池の主要機器を操作可能とする ・水運用センターにおいても小雀ポンプ場管理室と同等の監視操作ができること	
66		[PLC盤] 伝送用PLC-A、B 特高PLC No.1～3送水ポンプPLC		5面	2012	ポンプ棟管理室 受変電棟電気室 ポンプ棟電気室(2)	日立製作所					○		○	・PLCは最適な冗長化を図る ・通信プロトコルは汎用規格で構築	
67		リモート入出力装置		21台	2012	ポンプ場	—					○		○	・更新、受変電系はポンプ棟電気室に集約 ・油圧設備関連の現場盤・電源分岐盤は撤去	
68		プリンタ		1台	2012	ポンプ棟管理室	—		○							
69		冷却水ポンプ盤		1面	1999	ポンプ棟ポンプ室	—					○		○		
70		吐出本管弁盤		1面	1999	ポンプ棟ポンプ室	—					○		○		
71		ロート弁圧油ポンプ空気圧縮機現場盤		1面	1999	ポンプ棟ポンプ室	—		○							
72		エアドライヤー電源分岐盤		1面	1999	ポンプ棟ポンプ室	—		○							
73		計装盤		1面	2012	ポンプ棟電気室(2)	—					○		○		
74		共通補助継電器盤		1面	2012	ポンプ棟電気室(2)	—					○		○		
75		CCTV		1式			—					○		○	・設備監視用、扉監視用を兼ねたカメラシステムとする ・水運用センターでも監視可能とする	
76		計装設備	送水流量計		1台	1985	ポンプ棟ポンプ室	—					△		○	・変換器は更新、検出器は流用
77			調整池流入流量計		1台	1985	調整池	—		○						
78			供給流量計		1台	1985	調整池	—					△		○	・変換器は更新、検出器は流用

No.	名称		数量	竣工年度	設置場所		既設メーカー	撤去	新設	増設	更新	流用	保守修繕	備考
79		融通流量計	1台	1985	調整池		—				△		○	・変換器は更新、検出器は流用
80		No. 1/No. 2 小雀調整池水位計	2台	2012	調整池		—				○		○	
81		送水圧力計	1台	2012	ポンプ棟ポンプ室		—				○		○	
82		送水ポンプ入口圧力計	1台	2012	ポンプ棟ポンプ室		—				○		○	
83		供給残留塩素計	1台	2011	調整池		横河電機					○		
84		小雀調整池入口濁度計	1台	2013	調整池		横河電機					○		
85		小雀調整池出口濁度計	1台	2013	調整池		横河電機					○		
86		無線設備収容架（マルチメディア時分割多重装置）	1面		ポンプ棟管理室		—					○		
87		無線設備収容架	1面	2016	無線局舎		—					○		
88		センター向け 第1・第2装置	1面	2016	無線局舎		—					○		
89	無線設備	交流分電盤（商用）	1面	2016	無線局舎		—					○		
90		引込分電盤	1面	2016	無線局舎		—					○		
91		デハイトレータ	1面	2016	無線局舎		—					○		
92		衛星携帯電話設備	1面		ポンプ棟管理室		—					○		
93		ハロン消火制御盤			ポンプ棟管理室		—				○		○	
94		消火ポンプ制御盤		1987	ポンプ棟ポンプ室		—				○		○	
95		消火栓ポンプ盤		1987	ポンプ棟ポンプ室		—				○		○	
96		小雀消防設備開閉器盤		1987	ポンプ棟ポンプ室		—				○		○	
97		消火栓ポンプ室排気ファン			ポンプ棟ポンプ室		—				○		○	
98		ハロン消火設備端子盤		1987	受変電棟		—				○		○	
99	消防設備	消火補給水槽		1987	ポンプ棟		—				○		○	
100		ハロン消火設備	ハロゲン化物消火剤貯蔵容器、起動用ガス容器、起動装置、表示灯、噴射ヘッド、自動閉鎖装置			受変電棟		—				○	○	
101		消火設備	消火器、消火栓設備、火災報知器、誘導灯、排煙設備、非常用コンセント設備、非常電源、防排煙制御設備			ポンプ場		—				○	○	
102		給排水衛生・ガス設備	中和設備制御盤	1面	2014	ポンプ棟		—				○		
103		排水ポンプ	1～2号	2台	ポンプ棟ポンプ室		—				○		○	
104		流入弁室排水ポンプ	1台		調整池	流入弁室	—				○		○	
105		流出弁室排水ポンプ	1台			流出弁室	—				○		○	
106	空調設備	排気ファン	ポンプ室	1台	ポンプ棟空調機械室		—				○		○	・ダクト自体は流用可能
107		電気室	1台		ポンプ棟		—				○		○	・ダクト自体は流用可能
108		空調機室	1台		ポンプ棟		—				○		○	・ダクト自体は流用可能
109		管廊	1台		ポンプ棟		—				○		○	・ダクト自体は流用可能
110		圧油室	1台		ポンプ棟		—				○		○	・ダクト自体は流用可能
111		B1F倉庫	1台		ポンプ棟		—				○		○	・ダクト自体は流用可能
112		特高	1台		受変電棟		—				○		○	・ダクト自体は流用可能
113		自家発電室	1台		受変電棟		—					○		・自家発の補器扱いとして更新対象外とする
114		調整池管廊	1台		調整池連絡通路		—				○		○	・ダクト自体は流用可能
115		給気ファン	空調機械室	1台	ポンプ棟空調機械室		—				○		○	・ダクト自体は流用可能
116		ポンプ室	1台		ポンプ棟		—				○		○	・ダクト自体は流用可能
117		電気室	1台		ポンプ棟		—				○		○	・ダクト自体は流用可能
118		管廊	1台		ポンプ棟		—				○		○	・ダクト自体は流用可能
119		特高	1台		受変電棟		—				○		○	・ダクト自体は流用可能
120		自家発電室	1台		受変電棟		—					○		・自家発の補器扱いとして更新対象外とする
121		調整池管廊	1台		調整池連絡通路		—				○		○	・ダクト自体は流用可能
122		パッケージエアコン	管理室	1台	2009	ポンプ棟空調機械室		—				○	○	
123				1台	1987	ポンプ棟空調機械室		—				○	○	
124		電気室 1	1台	2009	ポンプ棟電気室 (1)		—				○		○	・容量見直し
125		電気室 2	2台	2009	ポンプ棟電気室 (2)		—				○		○	・容量見直し
126		電気室 3	3台	2015	受変電棟電気室		—				○		○	・容量見直し
127		事務室	1台	2015	ポンプ棟		—				○		○	
128		食堂	1台	2015	ポンプ棟		—				○		○	
129		排煙ファン盤	1面		ポンプ棟空調機械室		—				○		○	
130		排煙機	2台		ポンプ棟空調機械室		—				○		○	
131	照明設備	屋内設備	1式	1987	ポンプ棟、受変電棟、弁室		—				○		○	・LEDへ更新
132		外灯設備	1式	2024			—					○		
133	電話設備	交換機	1台	2018	ポンプ場		—				○		○	
134		多機能電話機	1台	2018	ポンプ場		—				○		○	
135		一般電話機	6台	2018	ポンプ場		—				○		○	
136		FAX	1台	2018	ポンプ場		—				○		○	
137		コードレス用アンテナ	10台	2018	ポンプ場		—				○		○	
138		コードレス電話機	3台	2018	ポンプ場		—				○		○	
139	水運用センター監視制御設備	インターフェイス伝送用PLC 小雀ポンプ場インターフェイス用PLC		2面		水運用センター2階		—				○	○	・上位のポンプGW分散制御PLCの伝送規約に従い伝送すること ・有線無線切替機能を持たせること ・水運用センター監視制御設備に必要となる改造は既設メーカーへ別途発注する

※更新のうち「△」は設備の一部更新を示すものである。

【別紙４】リスク分担表

【負担者】●：主負担、▲：従負担

段階	リスクの種類		No.	リスクの内容	負担者※1	
					企業団	事業者
共通	入札・契約	入札手続き	1	入札説明書、要求水準書等の記載内容の変更、誤記及び提示漏れによるもの	●	
		契約手続き	2	事業者の帰責事由による契約締結の遅延、中止		●
			3	企業団の帰責事由による契約締結の遅延、中止	●	
		終了手続き	4	契約終了手続きに伴う、諸費用の発生及び共同企業体の清算手続きに関するもの		●
	制度関連	政治	5	事業予算、債務負担行為、契約締結などの議決に関するもの	●	
			6	政策変更による事業の変更・中止に関するもの	●	
		法制度	7	本事業に直接の影響を及ぼす法制度・許認可の新設・変更によるもの	●	
			8	本事業に直接の影響を及ぼさない法制度・許認可の新設・変更によるもの		●
		許認可	9	企業団が手続きすべき許認可・届出の遅延によるもの	●	
			10	事業者が手続きすべき許認可・届出の審査等の遅延であって、事業者の事由によらないもの	●	
			11	事業者が手続きするべき許認可・届出の審査等の遅延であって、事業者の事由によるもの		●
		行政指導	12	事業者の帰責事由による行政指導に伴う事業の変更・遅延に関するもの		●
			13	企業団が対応すべき行政指導に伴う事業の変更・遅延に関するもの	●	
		税制変更	14	消費税などの本事業に直接の影響を及ぼす税制度の新設・変更によるもの	●	
			15	法人事業税、法人住民税などの事業者の利益に関する税制度の新設・変更によるもの		●
	社会	第三者賠償	16	事業者の帰責事由による第三者賠償等に関するもの		●
			17	企業団の帰責事由による第三者賠償等に関するもの	●	
		住民対応	18	本事業の実施そのものに関する地元合意形成等に関するもの	●	
			19	事業者が行う業務(調査・設計・工事・維持管理)に関する地元合意形成等であって、事業者の帰責事由によらないもの(企業団の指示により実施したもの等)	●	
			20	事業者が行う業務(調査・設計・工事・維持管理)に関する地元合意形成等であって、事業者の帰責事由によるもの		●
		環境問題	21	事業者の提案内容、業務に起因する環境問題に関するもの		●
			22	企業団が指示する環境問題に関するもの	●	
	業務	事業者の発注する業務	23	事業者が発注する契約の管理・内容変更等に関するもの		●
		想定外業務	24	第三者の加害行為(破壊、盗難、強盗、汚損、毒物混入、放火等)により、事業変更・施設運転停止・事業継続が困難となる場合	●	▲※2
	安全	事故災害	25	事業者の帰責事由による事故災害に関するもの		●
			26	企業団の帰責事由による事故災害に関するもの	●	
		安全確保	27	事業者が行う業務(調査・設計・工事・維持管理)における安全性の確保		●
			28	企業団が行う業務(企業団が別途発注する業務を含む)による安全性の確保	●	
	労務	教育・研修	29	関連経費及び予備要員の配置又は応援要員の確保		●
		ハラスメント行為	30	事業者の対応不備による賠償請求、企業イメージの低下		●
		不正犯罪	31	事業者の従業員の不誠実行為等による業務停止、契約解除		●
		情報漏洩	32	事業者の帰責事由による情報の漏洩		●
			33	企業団の帰責事由による情報の漏洩	●	
	資金	物価変動	34	本事業に係るインフレ・デフレ(物価変動)に関する費用の増減	●	▲※3
		保険の付保	35	事業者が行う業務(調査・設計・工事・維持管理)の各段階のリスクをカバーする保険に関するもの		●

※1 リスク分担にない事象については企業団と事業者間で協議のうえ対応方法を決定する

リスク分担が定められた事業についても、その発生事象や発生事由に応じてリスク分担について協議を行うものとする

※2 事業者の善管注意義務違反や業務不履行等によるもの

※3 一定の割合を超える費用負担は企業団、それ以外は事業者が負担とし、その割合は工事請負契約書(案)及び維持管理業務委託契約書(案)において定める

段階	リスクの種類		No.	リスクの内容	負担者※6	
					企業団	事業者
共通	変更・中断	計画変更	36	企業団の帰責事由による事業内容・用途の変更に関するもの	●	
			37	水質の急変、他施設での事故等により施設の送水能力を超過する必要がある場合	●	
		事業の中断	38	事業者の帰責事由による事業の中断に関するもの		●
			39	企業団の帰責事由による事業の中断に関するもの	●	
		契約不履行	40	事業者の帰責事由による契約不履行に関するもの		●
			41	企業団の帰責事由による契約不履行に関するもの	●	
		技術進歩・創意工夫	42	事業期間中の技術進歩や創意工夫に伴い、事業の内容に変更が必要となる場合	▲※4	▲※4
調査・設計	調査		44	企業団が実施した測量・調査に関するもの	●	
			45	環境汚染物質(アスベスト・PCB 等)の対策に関するもの	●	●※7
			46	埋蔵文化財の存在に関するもの	●	●※7
			47	事業者が実施した測量・調査に関するもの		●
	設計		48	企業団の帰責事由(提示条件の大幅な変更等)による設計の完了遅延・設計費の増加	●	
			49	事業者の帰責事由(提案の不備、設計の不備、事業者の事由による履行遅れ等)		●
工事	用地		50	事業用地の確保に関するもの	●	
			51	事業用地以外の建設に要する用地の追加的確保		●
			52	土壌汚染、地中障害物(残置廃棄物、不発弾等)、既存資料(地下埋設物、撤去対象施設等)及び現地で把握あるいは予見が不可能な地下埋設物に関するもの	●	
			53	既存資料及び現地で把握あるいは予見が可能な地下埋設物及び撤去対象施設に関するもの		●
	工事遅延		54	事業者の帰責事由による工事の遅延		●
			55	企業団の帰責事由による工事の遅延	●	
	工事費増加		56	事業者の帰責事由による工事費の増加		●
			57	企業団の帰責事由による工事費の増加	●※8	
	工事監督・工事監理・施工管理		58	企業団が実施する工事監督に起因するもの	●	
			59	事業者が実施する施工管理に起因するもの		●
	施設性能(新設設備)		60	新設設備の要求性能不適合、施工不良に関するもの		●
	引渡前損害		61	新設設備、工事材料又は建設機械器具等について生じた不可抗力による施設の引渡前損害	●	▲※9
			62	企業団の帰責事由による引渡前損害	●	
	施設の契約不適合責任(新設設備)		63	新設設備の契約不適合が発見された場合(契約不適合責任期間中)		●※10
			64	新設設備の契約不適合が発見された場合(契約不適合責任期間後)	●※10	

※4 企業団および事業者からの提案があり、新技術の内容や金額の増減(契約の変更)に両者が合意した場合(プロフィットシェア含む)

※5 企業団のリスク負担を基本とするが、被害を最小限にとどめる経済的動機付けのため、生じた損害の一部を事業者に負わせるもの

※6 リスク分担にない事象については企業団と事業者間で協議のうえ対応方法を決定する

リスク分担が定められた事業についても、その発生事象や発生事由に応じてリスク分担について協議を行うものとする

※7 調査結果として、要求水準書や閲覧資料等で明示した部分は事業者負担とする

※8 企業団の提示条件及び指示の不備・変更による設計変更、計画の変更など

※9 一定の割合を超える費用負担は企業団、それ以外は事業者の負担とし、その割合は工事請負契約書(案)において定める

※10 契約不適合責任期間は工事請負契約書(案)において定める

段階	リスクの種類		No.	リスクの内容	負担者※11	
					企業団	事業者
維持管理	施設	施設性能（新設設備）	65	新設設備の不具合、劣化、経年化等による性能不足に関するもの (契約不適合責任期間中)		●※12
			66	新設設備の不具合、劣化、経年化等による性能不足に関するもの (契約不適合責任期間後)	●※12	
			67	上記以外で事業者の帰責事由による不具合が発生した場合 (事業者の維持管理不足等によるもの)		●
			68	上記以外で企業団の帰責事由による不具合が発生した場合 (企業団の運転管理によるもの等)	●	
		施設性能（既設設備）	69	既設設備の不具合、劣化、経年化等による性能不足に関するもの	●※13	
			70	事業者の帰責事由による性能不足に関するもの (事業者による改良、維持管理の人為的なミス等に起因するもの)		●
			71	企業団の帰責事由による性能不足に関するもの (企業団による改良、更新、運転管理等に起因するもの)	●	
		施設の損傷	72	事業者の帰責事由による施設の損傷に関するもの		●
			73	企業団の帰責事由による施設の損傷に関するもの	●	
		ライフライン・消耗品	74	第三者に起因する施設の損傷に関するもの	●	▲※14
			75	企業団が提供する電気、水道等の供給停止に起因するもの	●	
		通信システムの障害復旧、安全対策	76	事業者が調達する消耗品等の不備に起因するもの		●
	77		事業者が使用するOA機器等、事業者の帰責事由によるもの		●	
		78	企業団の帰責事由によるもの	●		
		79	事業者の帰責事由による維持管理費の増加		●	
	維持管理費の増加	80	企業団の帰責事由による維持管理費の増加	●※15		
		業務引継ぎ	81	事業開始時の業務引継ぎの不備	●	
	82		事業終了時の業務引継ぎの不備		●	
	事業終了時の施設の状況	83	事業終了時の施設状況の要求水準の未達成		●	

※11 リスク分担にない事象については企業団と事業者間で協議のうえ対応方法を決定する

リスク分担が定められた事業についても、その発生事象や発生事由に応じてリスク分担について協議を行うものとする

※12 契約不適合責任期間は維持管理業務委託契約書(案)において定める

※13 点検の不具合によるものは協議により決定する

※14 事業者の善管注意義務違反や業務不履行等によるもの

※15 企業団の提示条件及び指示の不備・変更による設計変更、計画の変更など